

横浜市政新聞

2012年横浜市議会第2回定例会が5月31日から6月21日まで行われ、条例の制定や改正、指定管理者の指定などの市長提出議案28件、議員提出議案5件が、いずれも賛成多数で可決されました。請願については、継続審査2件、不採択13件、採択3件となりました。

日本共産党横浜市会議員団は、市民の暮らし第一に住民目線で議案を審査し、質問・討論を行いました。

福祉パス、年間一律3200円に有料化案 障害者に応益負担は間違い、あらき由美子議員が市長に質す

横浜市は、障害者が市営地下鉄や路線バスに無料で乗車できる福祉パスについて、軽度の知的障害児・者に対象を広げる一方で、一律年間3200円の利用者負担を導入しようとしています。福祉パスは約5万人の障害者が利用しています。



あらき由美子議員（写真左）は一般質問で、市の福祉パス利用者アンケート結果から障害者には低収入の人が多くいることを示し、「収入の低い障害者に利用者負担を強いることは、さらに生活困窮に追い込むことになる」と述べました。

さらに、「障害者に応益負担を押し付ける考え方のそのものが間違い」と批判し、「利用者負担の導入で福祉パスの交付が減り、障害者の社会参加を阻害することになる」と述べました。

林文子市長は、「福祉パスの見直しは受益者負担を目的としたものではなく、適正交付を目的としたもの」であり、「そのため、所得によらず一律定額による金額を設定した」と述べ、「限られた財源の中、対象者の拡大など支援の必要な障害者に適切なサービスを提供」していくと強調しました。

林文子市長は、「福祉パスの見直しは受益者負担を目的としたものではなく、適正交付を目的としたもの」であり、「そのため、所得によらず一律定額による金額を設定した」と述べ、「限られた財源の中、対象者の拡大など支援の必要な障害者に適切なサービスを提供」していくと強調しました。

福祉パスが有料になると、かなり生活が厳しくなります。(古谷議員のブログへのコメント)



バスに乗らないとどこにも出かけられないのでとても困る。年金生活のため、通院や買い物などの交通費の負担は重いです。(南区、60代女性)

福祉パスは毎日利用させてもらって大変助かる。3200円になったら月収8万円の私には支払えない。(戸塚駅で岩崎議員に声をかけてきた男性)

横浜市が市民意見募集中

横浜市は、福祉バスを含む障害者の外出支援制度の見直し案について、市民意見募集を実施中です。募集期間は、6月11日(月)～8月17日(金)の約2か月間です。

意見募集用紙を区役所、市役所等で配布するほか、障害者手帳所持者のうち約1万人の方へ意見募集用紙が直接送付されます。横浜市のホームページからもダウンロードできます。また、7月に市内5か所で市民説明会が開かれます。

くわしくは、横浜市健康福祉局障害福祉課
(電話 045-664-2625 FAX 045-671-3566) へ

岩手県大船渡市と陸前高田市に震災がれき処理状況を調査 震災がれき受入は地元の意向をよくきいて

日本共産党市会議員団は5月13日から15日まで、岩手県大船渡市と陸前高田市へ視察に行ってきました。

現地での震災がれきの処理状況等を確認して、国がいうようにがれきが本当に復興の手かせ足かせとなっているかどうかの判断材料を得るためです。

大船渡市では、第一次・第二次集積所を見学するとともに、岩手県建設業協会大船渡支部と大船渡民主商工会でお話をうかがいました。陸前高田市では、仮設の市役所で議会事務局の職員(県から派遣)からレクチャーを受けた後、集積所で説明を受けました。

大船渡市の第二次集積所を視察する日本共産党横浜市議員団 5月14日



大船渡市では、町中ががれきの山はなく、第二次集積所で破碎・分別処理し、セメント工場で可燃物・木くずの焼却処理が進んでいました。陸前高田市では、がれきの山が旧市街地に集中していますが、処理については、津波堆積物以外は処分方法が定まっておらず、広域処理にはいっさい頼っていないことが大船渡市の説明で明らかになりました。

放射能がれき焼却受託についての請願の採択を

白井まさ子議員（写真右下）はこの調査結果をもとに、震災がれきは慎重の上にも慎重を期して安易に受け入れないようにという請願を採択するよう、討論を行いました。

白井議員は、復興の妨げになっているのは、がれきの処理が進まないことよりも、国や県がかかわる都市計画、土地利用計画の遅れにあると指摘。また、放射能はこの値までは安全という「しきい値」がないので、低レベルでも放射能汚染の拡散を防ぐことが必要だという立場から、採択を主張しました。



かえよう
すみよい
よこはまへ

1面：福祉パス／震災がれき
2面：公の施設に「受益者負担」を持ち込むな／罰金刑のごみ持ち去り条例は慎重に／第2回定例会での主要会派の賛否

Yokohama View 横浜ビュー 横浜のご紹介

神奈川県庁キングの塔



県庁本庁舎は、1928年(昭和3年)に建てられ、1996年に国の有形文化財として登録されました。横浜三塔の一つ「キングの塔」と呼ばれ、クイーン(横浜税関、写真の左の塔)、ジャック(横浜開港記念会館)の三塔を同時に見ることのできる3つのスポットを全てまわると願いが叶うという都市伝説も。県庁開庁時には屋上まで登ることができ、大さん橋や象の鼻パークなどが見え、お勧めスポットです。

アクセス：JR京浜東北線(根岸線)/横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩約10分、みなとみらい線「日本大通り駅」県庁口出口からすぐ。

市政へのご意見・ご要望は日本共産党横浜市会議員団へ



n-ohnuky@khh.biglobe.ne.jp (団長・青葉区)



mail@iwasaki-hiroshi.jp (副団長・戸塚区)



mail2@araki-yumiko.jp (南区)



mail@shirai-masako.jp (港北区)



y-furu3941@triton.ocn.ne.jp (鶴見区)

大貫憲夫議員 (団長・青葉区) 岩崎ひろし議員 (副団長・戸塚区) あらき由美子議員 (南区) 白井まさ子議員 (港北区) 古谷やすひこ議員 (鶴見区)